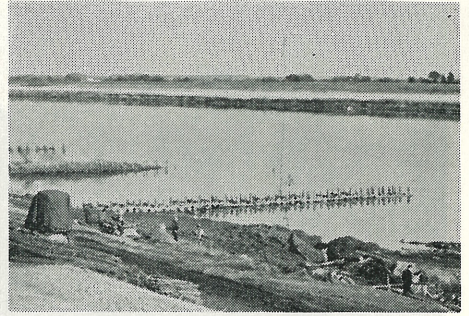




広報

とね

茨城県北相馬郡利根町役場
昭和45年2月10日発行 No. 70



利根の春

44年度の一般会計予算は 二億七千九百九十八万四千円に

昭和44年度の利根町一般会計予算は、昨年12月17日の第4回定例会で、歳入歳出とも二千三百八十一万五千円を追加し、歳入歳出予算の総額は二億七千九百九十八万四千円となりました。(当初予算は
補正後の歳入歳出予算は次の表のとおりです。

歳入	単位千円
町税	38,657
自動車取得税交付金	2,390
地方交付税	131,189
交通安全対策特別交付金	1
分担金及び負担金	3,500
使用料及び手数料	3,437
国庫支出金	36,443
県支出金	24,278
財産収入	57
寄附金	217
繰越金	15,121
諸収入	1,394
町債	23,300
繰入金	—
歳入合計	279,984

歳出	単位千円
会議費	5,729
総務費	71,620
民生費	21,250
衛生費	8,981
農林水産業費	33,683
商工費	500
土木費	36,733
防衛費	7,356
教育費	83,265
債備費	7,867
公予費	3,000
歳出合計	279,984

消防功勞者等表彰さる

1月7日 盛大に出ぞめ式挙行

「消防出ぞめ式」は、消防団が新年最初の演習を行なう式で、東京では例年一月六日



【上の写真は利根町消防団長渡辺重男氏】

に行なわれており、地方でもだいたい東京にならってこの日の前後に実施しています。古くは、町がかえのとび職人を主力として組織された「町火消し」が消火活動にあたっていましたが、正月の出ぞめ式に、これら消防の者が

町内のおもだった家をたずねて新年の祝儀を述べてから、はしご乗りの演技を見せたりしました。

わが国の消防組織は、慶安一年(一六四八年)に江戸幕府が江戸町民に対して、火災予防のおふれをだし、ついで慶安三年に四千石以上の旗本に命じて、二組の火消し役を編成させたのがはじめとされています。

いわゆる文芸の題材になっている「江戸の華」といわれている「町火消し」は、享保三年(一七一八年)に、ときの江

戸南町奉行大岡忠相(ただすけ)によって編成されたもので、町民の自治によるいわゆる義勇消防で、いろは四十七組を主体とするものでした

この町火消しに従事した人をとび職といいますが、これは火事のとび、とび口をもって破壊消火に従事したことかから出たという説や高い屋根の上を鳥のとびのように往来することから出たという説などがあります。これらとび職は町がかえで、きびしい秩序をもち、火事に際しては、他の組と功を争ってきびしい活躍

をしました。

ところで最近では、とび職は消防にはあまり関係なく、町の祭礼の手伝いや主に土木建築業に従事しており、出ぞめ式ではしご乗りをすることができる人も少なくなり、地方の出ぞめ式ではほとんど見られなくなりました。

そうしてこれらの行事にかわって一般的には、消防団のパレードやいっせい放水、優良団員の表彰などが行なわれ消防団の士気高揚と、一般住民に対する消防活動のPRをねらいとして実施されています。

消防団出ぞめ式における表彰者

【県知事表彰・永年勤続功勞員】

30年勤続 本部長山口秋

20年勤続 本部長星野道雄

分団長平野勇、副分団長野

口力雄、班長八嶋徳之助、

団員恩田正己、同五十嵐健

作、同菊地国雄、同池延守

同木村義雄

【消防協会北相馬支部長表彰】

優良分団 第16分団、優良

団員 本部長岡野克己、同

藤代七郎、分団長油原哲弥

同鬼沢朗、同藤代由之助

【町長表彰・退職団員】

元分団長白井寧雄、同渡辺

次夫、同武藤重夫、同松葉重夫、同風間貞吉、同寺田正美、同大山浩、同山形元広、同大崎正喜、同飯田成男

【町長表彰・団員の指導育成】

本部長 渡辺長治

【町長表彰・火災消火功勞】

内宿 中野仁三郎 押付部

落

【団長表彰・優良団員】

分団長 川上保、同森田茂

夫、同白戸武、同羽入一二

役場消防隊長秋山晴

【団長表彰・火災消火功勞】

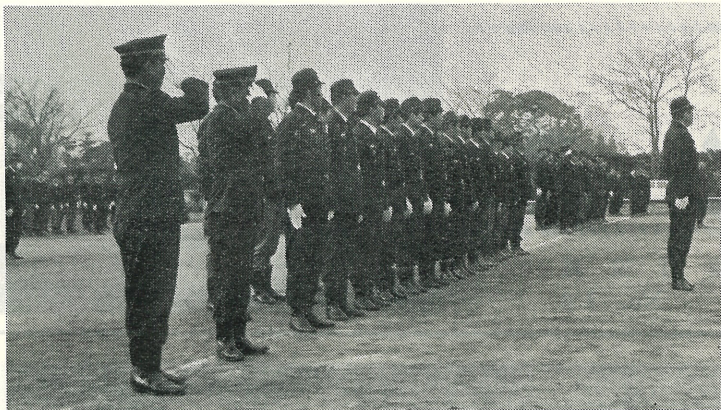
団員小島紘一

町では一月七日、利根中学校布川教場校庭で、渡辺重男団長以下4百63名の団員が早朝から出場して、例年どおり出ぞめ式を挙行し、永年勤続功勞団員をはじめ、優良分団退職団員等、別記のかたがたがそれぞれ表彰され、ことしの消防体制の完べきを誓い合いました。

いま捨てたタバコの温度が七百度

火災が多いのは春先きです子どもの火遊び、タバコ、かまど、ふる場、煙突、ストーブなどには、くれぐれも気を付けましょう。

写真は、1月7日布川教場校庭に勢ぞろいした利根町消防団員。この日は、人員、姿勢、服装、機械、器具等の点検のほか、規律訓練や操法訓練等の各種演技を繰り広げたのち、最後に利根川でいっせい放水が行なわれた。



保育所入所希望者を募集

昭和45年度保育所入所希望者の募集につきましては、回覧などでもお知らせしますが現在保育所へ入所中の児童のうち、この4月に小学校へ入学される児童がありますのでその児童の補充として、後記のとおり入所申請の受け付けを開始しますから、希望者は申請してください。

なお、布川保育園・文間保育所とも定員は90人ですので希望者が多いときは、入所で

きない場合もありますからお含みおきください。

①入所児童の資格

利根町内に居住する学齢前の児童で保育にかけるもの

②入所受け付け期間

昭和45年2月15日から3月20日まで。

③入所者受け付け場所

布川保育園・文間保育所・利根町役場厚生課

申請の際は必ず印鑑を御持参ください。



写真は、1月24日布川保育園で写したもので、ボクとワタシのたのしいおゆうぎの時間です。

成人式

去る1月15日、利根町役場会議室で成人式が挙行されました。成人の日は、おとなになったことを自覚して、みずから生きぬこうとする青年を祝い励ます国民の祝日で、利根町では下表のとおり2百43人のかたがたが、め



でたくおとなの仲間入りをしたわけです。

新しく成人となられたみなさんおめでとうございます。

利根町の将来をになうみなさんの前途を祝福し、心からお喜びを申し上げます。

【写真は上が文・布川地区、下が文間・東文間地区のみなさんです】

☆
☆
☆

昭和45年成人該当者

地区名	男	女	計
文	24	25	49
布川	26	42	68
文間	34	29	63
東文間	28	35	63
合計	112	131	243

スリップ事故に注意しよう

例年二月は、積雪や凍結などで、路面の状態が一段と悪くなるため、スリップによる交通事故がふえてきます。

そこで、危険なスリップ事故や最近急激に多くなってきた追突事故を起こさないよう自動車の運転者は次の点を注意してください。

車の点検整備を励行する

安全な運転をするためには車の機能が十分發揮できるよう、よく整備されていること

が肝心です。冬の間は、とかく車の整備を怠りがちですが

自身を守るだけでなく、他人に迷惑をかけるためにも、車を運転する前の点検整備を励行するよう心がけることがたいせつです。

ブレーキ、ハンドルの遊びウィンドワイパーなどに異常がないかどうかをよく確かめること。

安全速度を守る

寒さがきびしいと、路面が

凍結してすべりやすくなるため、からすべりや横すべりをして、たいへん危険です。また積雪のときは、路肩が見えにくくなるので、道路の端に寄りすぎると、よく転落事故を起こします。

急ブレーキをかける必要がないよう、常に速度を控え目にするとともに、無理な追越しを絶対しないようにします

車間距離を十分にとる

凍結した路面や雪が積った道路は、ブレーキをかけてもそのまま滑走しやすくなり、追突事故を起こしやすいので車の速度をメートルに直した距離の一・五倍(毎時四十キロのときは六十メートル)以上の車間距離をとって運転するようにします。

チェーンを使用する

積雪や凍結した道路では、すべり止めのチェーンをタイヤにとりつけるか、またはスノータイヤを使用すること。しかし、これだけでは、絶対に安心というわけにはいかない

ので車間距離は十分にとつたうえで、周囲の交通事情に応じた安全な速度と方法で運転するように心がけること。

二輪車はできるだけ運転しない

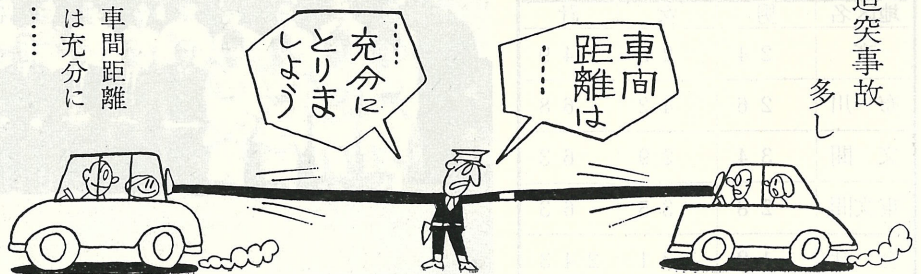
積雪や凍結した道路で二輪車を運転し、急ブレーキをかけると、滑走し、転倒しやすいためです。こうした道路では、なるべく二輪車を運転しないようにすること。

やむを得ず運転するときはヘルメットを必ず着用するほか、無理な運転は絶対に行わないよう、とくに注意しなければなりません。

なお、例年この時期は、酒酔い運転が多くなります。酒酔い運転は、本人はだいたいじょうぶと思つていても、運転しているうちに酔いが回つて注意力や反応動作がかんまんになって、大きな事故を起こしがちですから、ハンドルを握る時は、絶対に酒を飲まないこと。また周囲の者も運転者に絶対に酒をすすめないこと。酒がでる会合などへは車を運転して行かないこと。の三点を守る必要があります。

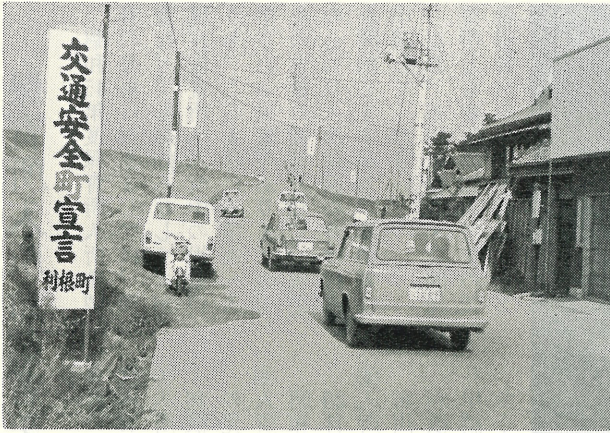
関東地方に雪がふるのは、二、三月にかけてが多く、降つたあとは必ず凍結しますので、恐い事故など一件も起こさぬよう、お互いに十分気をつけましょう。

追突事故多し



訂正とおわび

一月号掲載、歳末助け合い運動実績報告中、利根町タバコ小売人組合婦人部から三千元寄贈とあるのは、昭和四十三年度分の誤りにつき、訂正とおわびを申し上げます。



わたくしたち利根町民は、交通安全宣言町民としての誇りと自覚に徹し、交通秩序を守り、事故の絶滅に協力いたしましょう。

家庭欄 第八号

寒さに強くなる食べ物

一月から二月は、一番寒い時期とされていますが、ことはまた例年にないきびしい寒さが、三月中旬ごろまで続くだろうという気象台の予報だそうです。

したがって、わたくしたちは、その寒さに打ち勝つため十分健康に留意していきたいと思います。

そこで、その寒さに打ち勝つための冬の栄養管理のポイントについて参考までにご紹介いたします。

寒いときは、体温の放散も多いので、量も多めに毎食きちんと食べることがたいせつです。寒さに対抗する食べ物の主役は、なんとといっても脂肪です。脂肪は1g当たりのカロリーが含水炭素の二倍以上もあるのです、少量でもカロリーが多く、体温をよく保ちます。食べてからすぐにからだが暖まるのは、たんぱく質や脂肪を多く含んだ肉類です。食べ物を食べた後からだが暖まるのは、摂取食物のカロリーの一部が体温となって放出されるため、たんぱく質は特にこの作用が強く、冬の食

事に肉なべがよろこばれるわけです。

なお、ひふや粘膜の細菌に対する抵抗力を強くするためビタミンAの豊富な牛乳・卵・緑黄野菜・マーガリン、寒さに耐えるために必要なビタミンCの多いみかんや生野菜そして強化米や強化麦でB₆を十分にとっておきますと、寒い冬がほかほかと楽に過ごせます。

スープやなべ料理の食べすぎは、塩分のとりすぎになりまますので注意しましょう。

献立

さばのシチュウ(四人前)

材料 さば中一尾 油大サジ1・5

小麦粉大サジ3 パセリ少々 油大サジ3 塩小サジ1

じゃがいも3箇 こしょう たまねぎ1箇 酒半カップ

にんじん中1本 酢大サジ1

しいたけ4枚 スープ2杯 作り方

①さばは3〜4寸の筒切り、内ぞうをとりだして塩、こしょうをふっておく。

②さばの頭、パセリの茎、た

まねぎ、にんじんの薄切りなどでスープをとる

③にんじん、じゃがいも、たまねぎは、乱切り、しいたけはもどして適当な大きさに切る。

④フライパンに油をとり、さばの切り口に小麦粉をまぶして両面を焼く。

⑤深なべに油をとり、野菜をいため、焼いたさば、スープ、酒、塩、パセリの茎な

どを入れ、野菜がやわらかくなるまでゆつくり煮込み

あくがでればすくいとる。

⑥最後にこしょう、パセリのみじん切りをちらし、酢を入れて仕上げる。

一人分の栄養価は、熱量4百88カロリー。たんぱく質21・8g。

利根町食生活改善推進員協議会

水のはなし

住宅地に必要な条件、それは文化的生活を営むに必要な条件でもあり、電気、ガス、上下水道が整備され、はじめて住宅地といえると思います。そこで水の問題ですが、井戸水と水道、どちらか経済的に有利なほうを選び利用されたほうがよいと思います。

全国の水道普及率は、昭和42年3月現在で72・2%であり、茨城県は37・3%と全国最下位。ここにも後進県茨城の姿が見られますが、開発と同じように、ここ毎年普及率は上昇しています。

なぜ国では補助金をだしてまで水道の普及をはかっているのでしょうか。それはつまり、水質の問題があるからで

す。無色透明ということも水質の条件ですが、そのほか目に見えない一般細菌、大腸菌群、塩素イオン、有機物等、アンモニア性窒素及び亜硝酸性窒素、シアンイオン、水銀

亜鉛、六価クロム、ひ素、ふつ素、カルシウム、マグネシウム等、蒸発残留物、陰イオン活性剤、水素イオン濃度、臭気、味等があり、これらが一定の基準に合格しなければ、飲料水とはいえません

昨年茨城県下の井戸水の検査をしたところ、79%が不適とされ、新聞紙上に大きく取り上げられました。

利根町の場合、抽出検査ですが88・24%が不適です。飲

引き揚げ者等に対する特別交付金の支給について

外地に一年以上生活の本拠を有し、終戦後内地に引き揚げて来た人、または一年以上外地に生活を有して終戦後引き揚げの途上死亡されたかたに支給される引き揚げ者特別交付金については、本年(昭和45年)3月31日までに請求手続きをしていただかないと時効になりますので、該当者は至急手続きをしてください。また該当すると思われるかたや、不明の点につきましては、役場の厚生課にお問い合わせください。

用不適の水を飲めば必ず病気になるというふうなものではなく、チクロと同じように体質や基準量の問題があります。県内の井戸水による事故には猿島肝炎等があります。

町の簡易水道では、毎月前記の検査を保健所に依頼して実施しております。つまり安心して飲むことができるわけです。

水道に未加入の皆様の新規加入をお待ちしております。御希望のかたは、利根町役場厚生課の水道係までどうぞ。

商工会だより

●二月の事業計画

二十一日、店舗診断(巡回指導) 店舗の設計、商品陳列商品の回転法など専門家が自宅に伺って相談、診断をしてくれます。

ケース一つを動かすにも、まず診断を受けてから...お店の繁栄のため、ぜひ一度は受けましょう。

二十五日、決算個別指導(公会堂) 四十四年度の決算及び確定申告の準備はお済みでしょうか。税理士が個々に指導をしてくれます。

県火災共済をご利用ください(希望者は商工会へお電話ください)

配当金がつき掛金がとても安い茨城県火災共済。

◆(個人営業者)の年末決算の準備と注意点

- ①現金出納簿
現金残高は、毎日確認するよう習慣づけてください。
- ②銀行勘定帳
預金経過をつかみ、小切手を切る時は、一応残高を確かめてください。
- ③買掛帳
調査時の内部証拠としての証拠である買掛帳も身のかしの一つの手段となります。
- ④売掛帳
必ず毎月の計と残高の確認を忘れずに。残高は常にゼロ。

今月の納税【2月】

固定資産税(第4期)
国民年金(第4期)
(1・2・3月)

水道使用料

口になれば理想です。

⑤手形記入帳
受取手形：記帳前に必ず点検を行なう。記載事項もれが無効を招きます。
支払手形：忘れずに控えに記入をしましょう。

⑥固定資産台帳
使用可能期間一年未満・取得価格三万円以下のものはその使用時の年分の必要経費になります。

⑦経費帳
家事用と事業用の経費を年末に一括あんぶんをしましょう。

◆確定申告の準備は早目に!!
申告期間：二月十六日～三



月十六日まで
添付書類：医療費・小規模共済・生命保険・損害保険
寄付金等控除のある人は添付する必要がありますから前もって整理しておいてください。

(利根町商工会事務局)



お知らせと

おねがい

昭和三十六年に、利根町の電話を竜ヶ崎と同時にダイヤル化したいと運動をはじめて十年目。自動化促進協議会が発足して一年半。夢にまで見たダイヤル式の電話がいよいよ実現いたします。

(利根町電話自動化促進協議会)

こうなるまでには、町当局の御協力はもちろんですが、特に電々公社の格別のおはかりで、計画受け入れ決定から開通まで、丸一年という全国に例を見ない早さでありました。

これは、利根郵便局の御理解と農集電話、一般加入電話及び新規加入申し込みのかた

がたの御援助のたまものです
特に最もたいせつな自動交換機設置用の土地を、公共のためとは申しながら、公社の要求どおりに心よく提供してくださった地主のかたがたのおかげです。厚く御礼を申し上げます。

春になりますと、測量ははじまります。農集電話の時のように電柱、支線及び線路の工事等については、広く町民の皆様の御理解と御協力をいただかねばなりません。なにごとにもよろしく御願ひ申し上げます。一日も早く、ダイヤルで直通の電話がかけられるようにしたいと存じます。

御協力を重ねて御願ひ申し上げます。

町勢 (昭和45.2.1現在)	
世帯数	1,753
人口	8,586
	{ 男 4,166
	{ 女 4,420
発行所	利根町役場
町長	加納久顕
編集	総務課 広報係
電話	(利根) (029768) 9・69・108番
印刷	倉沢印刷株式会社